

地質ニュース

第492号 1995年8月

口 絵

ハメリンプール湾の現生ストロマトライト	伊津野郡平
東京湾岸地帯の深部物性断面図	星野 一男
地質標本館所蔵標本「木下標本」(I)元素鉱物	地質標本館

巻頭エッセイ：地質調査所の国際化を考える加藤 碩一・6

特集：CCOP—国際化を考える

アジアの地球科学国際協力において国際機関の果たしてきた役割

—ESCAP-CCOP—地質調査所—	嶋崎 吉彦・8
CCOP—東アジアの多国間地球科学協力フォーラム—	富樫 幸雄・16
1994年第31回 CCOP 年次総会(マレーシア)に参加して	
.....長谷 紘和・富樫 幸雄・松林 修・村上 文敏	・25
“東・東南アジアの地球科学図のデジタル編さん”	
—DCGM Project of CCOP—	脇田 浩二・33

ハメリンプール湾における現生ストロマトライトの形態形成について

.....伊津野郡平	・41
地下利用技術の課題と地球深部情報星野 一男・55

第8回地質調査所研究講演会「放射性廃棄物処分と地質環境」を終えて	・44
地圏情報棟落成66
新刊紹介「地学英語文例事典」67
「地震 Earthquake」/「地球—その誕生と現在」68
「生物-地球環境の科学—南関東の自然誌—」69
編集後記70

表 紙

根上隕石の偏光顕微鏡写真：根上(ねあがり)隕石は、1995年2月18日深夜、JR北陸線寺井駅に近い石川県能美郡根上町大成の商店街の一角に駐車中の、笹谷啓一氏(発見者)所有の白い乗用車のトランクに落下した。火球の目撃証言および隕石孔の形状から、同夜23:55頃に北方の日本海上空から落下したものと推定される。衝突時に分裂したが、325gの最大破片をはじめ多数の小破片が回収された。金沢大学での鉱物の化学分析や放射能測定によってL6型球粒隕石(コンドライト)であることがわかった。表紙の偏光顕微鏡写真に見られるように、球粒の組織はよく保存されているが、基質は完全に再結晶している。(写真と文：金沢大学理学部 石渡 明)

通商産業省 工業技術院 **地質調査所**

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan